# 令和８年度　第１回　京田辺市行政改革推進委員会

日時）令和８年８月 25 日(火)
午後１時 30 分～午後２時 30 分
会場）京田辺市役所　305 会議室

| | |
|---|---|
| 会議名 | 令和８年度　第１回　京田辺市行政改革推進委員会 |
| 日　時 | 令和８年８月 25 日(火)　午後１時 30 分～午後２時 30 分 |
| 場　所 | 京田辺市役所　305 会議室 |
| 内　容 | 【議事録】<br>１　開会<br>２　あいさつ<br>３　会長・副会長の選出<br>４　議事<br>(1) これまでの行政改革の取組について<br>５　閉会 |
| 出席者 | 委員　野田会長、鈴木副会長、上浦委員、澤井委員、柴田委員、立秋委員、増田委員<br>市側　事務局（企画政策部長等） |
| 傍聴者 | なし |

## 主な意見

（１）財政状況・人口動態について

・　経常収支比率について、令和５年度では95.9%、令和６年度では97.9%となっている。令和７年度、令和８年度と人件費が急増し、人事院勧告も上がり、維持管理経費も上がってくる。特に、京田辺市では大型事業を抱えている中で、この辺の数字について心配をしている。

・　今、物価高騰が進んでいる。具体的には、建築費や人件費の上昇を背景に全国的に財政状況が非常に厳しくなっている。また、人口動態を見てみると、ピークを越えて、減少していく傾向に入ったと感じている。次の４年間について、財政的な視点も踏まえた取組がこの委員会での議論になると考えている。実行計画の取組を充実させながら、市民が住み続けたいと思えるまちづくりの基盤としての行財政運営を図っていただきたい。私なりの解釈として、自立できる程度に身軽にしていかないといけな

いと気がする。経常収支比率が非常に厳しい数値になっているので、優先順位を付けながら、持続可能にしていくことが市民の願いだと思うので、そういった観点で進めていただきたい。

（２）企業誘致・官民連携について

・　市内事業者でふるさと納税の新しい返礼品の開発にも取り組んでおり、企業版ふるさと納税についても、他市町村にある企業に対するPRについて、経済界も協力ができればと思っている。

・　田辺北地区新市街地整備等も含めて、今後のまちづくりは、市が単独でやるには経費もかかるので、民間の力も利用していただきたい。

・　市内への立地を希望する企業もある中で、企業誘致や企業立地の進捗状況や取組にあたっての京田辺市の強みを生かしながら、関係機関と連携した取組みを進めていただきたい。

（３）ＤＸの推進について

・　保育園の書類や障害者手帳の更新手続きで「市役所に来て下さい」と言われて大変である。今ある手続きをオンライン化するだけではなく、次のステップとして、やらなくてもいい申請等を効率化していく、行政として強く、スリムにしていく過程の中でそういった改革をより加速していくべきである。ＡＩの台頭について、会社でもＡＩを導入して、毎日時間のかかっていた作業が不要になり劇的なコストカットが出来るようになった。市役所の中でのＡＩを活用した効率化についても進めていただきたい。